

2020年 11月 26日

長野市 議会  
議長 小泉 栄正 殿

地域医療と公立・公的病院を守る長野県連絡会

長野県保険医協会 会長 <sup>みやざわ ひろゆき</sup> 宮沢 裕夫  
長野市若里1-5-26

長野県民主医療機関連合会 会長 <sup>しみず のぶあき</sup> 清水 信明  
松本市元町2-9-11

長野県難病患者連絡協議会 会長 <sup>たけざね かづら</sup> 岳沢 桂  
須坂市北原町1-2-3-4

長野県社会保障推進協議会 事務局長 <sup>はら たけし</sup> 原 健  
長野市高田276-8

長野県障害者運動連絡協議会 代表 <sup>まつまる みちお</sup> 松丸 道男  
長野市高田276-8

長野県労働組合連合会 議長 <sup>ほそお としゆき</sup> 細尾 俊彦  
長野市高田276-8

長野県自治体労働組合連合 執行委員長 <sup>すずき まさよし</sup> 鈴木 将由  
上田市中央2-3-9

長野県医療労働組合連合会 執行委員長 <sup>こばやし まさゆき</sup> 小林 将幸  
長野市高田276-8

## 紹介議員

野々村博美

倉野立人

小林史子

## 安全・安心の医療・介護の実現と

## 国民のいのちと健康を守るための請願書

### 【請願趣旨】

2020年の新型コロナウイルスによるパンデミック（感染爆発）は、日本国内でも大きな影響を及ぼしました。経済活動や国民生活にも深刻な影響を及ぼすと共に、「医療崩壊」などが取りざたされ、国民のいのちと健康が脅かされる事態が広がりました。この感染症対応の経験から明らかになったことは、感染症病床や集中治療室の大幅な不足や、それらを中心的に担っている公立・公的病院の重要性、医師・看護師・介護職員の人員不足、~~保健所の不足問題~~などです。~~これらの諸問題の背景には、90年代後半から続いてきた医療・介護・福祉など社会保障費の抑制策や、公衆衛生施策の縮減があります。~~

21世紀に入り、わずか20年の間に、SARS、新型インフルエンザ、MERS、そして~~今年~~<sup>般</sup>の新型コロナウイルス感染症と、新たなウイルス感染症とのたたかいは短い間隔で求められ、今後も新たなウイルス感染症への対応が必要になることは明らかです。

新型コロナウイルス感染症対策の教訓を経て、国民のいのちと健康、暮らしを守るためにも、~~そ~~<sup>に</sup>新たなウイルスの感染拡大や自然災害などの事態の際に、経済活動への影響を最小限に抑え込むためにも、医療・介護・福祉、そして公衆衛生施策の拡充は喫緊の課題です。

以上の趣旨から、下記事項につき、地方自治法第99条にもとづく国に対する意見書を提出していただけるよう請願いたします。

記

1. 今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。  
の適切
2. 公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえ医療体制の充実を図ること。  
実情 慎重に検討を行い、
3. 安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員すること。  
維持・発展させる  
安定的な確保方を講じ
4. 保健所の増設・保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。  
公衆衛生の を図る
5. 社会保障に関わる国民負担軽減を図ること。  
医療・介護等の 制度を安定的に運営していくため、保険料の上昇抑制が図られるよう、必要な財政措置を講ずる  
以上